

県議員 奥村のり子 の  
読者ニュース



2015年2月1日 第161号  
——奥村のり子生活相談所——  
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11  
☎&FAX 073-427-7121  
Eメール wjcpken@naxnet.or.jp

共産党県議が6人への躍進で

2月1日午前11時からと2議席への回復を果たし、橋本市選挙区の富岡清彦さんと併せて、現有4議席から6議席への躍進をめざしてがんばっています。

県議会は42議席(欠員2)のうち自民党が7割の28人をしめ、改新クラブ(民主党公認や元公認、連合推薦議員など)5人、公明党3人の4つの会派で構成されています。

予算案など知事提案には日本共産党以外はすべて賛成するオール与党議会となっています。

日本共産党は和歌山市では私を含め、かとう直人さん

全委員会に党議員を送り  
県民の声が生きたる県政へ!

県政への道が開かれます。委員会での議案審議を徹底し、チェック機能をさらに高めることができます。



市会では昨年8月の補欠選挙で中村朝人市議を誕生させていたで、現有6議席になり、この議席をなんとかしても確保することです。地方政治の場から安倍政権の暴走にストップをかけるため私は、今、各地区でのつどいや後援会の集まり、介護施設訪問、街頭宣伝など連日がんばっています。2月13日からは今期最後の定例議会が始まります。みなさんの切実な声の声を精一杯届けがらばります。ぜひご支援の輪を広げに広げていただきますように心よりお願い申し上げます。(のり子)

読者の皆さんに心からのお願いです

読者の皆さん。しんぶん赤旗のご愛読ありがとうございます。今年も早くも1月が終わりです。4月の県議選・市議選本番まで十日となりました。

和歌山市の党組織は、1995年に県議2人、市議6人全員当選しましたがその後、全員勝利はなく、「全度」の6名全員勝利必ず」と頑張っています。今、8候補は事務所開きや、「つどい」の開催、ビラ配布、ご挨拶まわりに懸命に取り組んでいます。

2月8日昼2時より新衆院議員の清水ただしさんを迎えて、党と後援会の決起集会を地場産業振興センター(紀三井寺)で行ないます。ぜひお越しくださいと願っています。

「赤旗」読者の皆さんには集金の折、県議・市議セットのビラと支持拡大の用紙等をお渡しし、「折り入ったお願い」をしている事と存じます。

一人でも多く知り合いの方へ、おくむらのり子・かとう直人をはじめ8人の県・市議候補へのご支持を訴えて頂きたいとお願い申し上げます。(編集室)

- のり子の週刊口誌(主なもの)
- 1月30日 市駅前、吉宗前宣伝 予算説明 市
  - 2月 1日 事務所開き、親バト後援会、河北街頭 宣伝
  - 2日 介護施設訪問
  - 3日 地域訪問
  - 4日 つどい
  - 5日 無料生活相談 地域訪問、つどい
- 日赤労働者後援会

頑張る子育て世代

みなさんこんにちは。中村あさとです。

昨年12月に「子どもの医療費助成制度の拡充をめざす連絡会和歌山」が結成され、1月に2回目の世話人会が開かれました。

私は、前回のいっせい地方選挙以来、子どもの医療費の助成制度の拡大を訴えてきました。「安心して子育てができる和歌山市を作ろう!」の会(あんど)のお母さん達と一緒に署名集めなどをしながら、たくさんの子育て世代の切実な声を聞き、議会に届けてきました。

今、和歌山市では、市長が中学校卒業までの入院費の無料化を検討すると表明しました。大橋市政と比べると大

子どもの医療費無料化へ大きな変化



宣伝チラシです

大きな変化だと思えます。こうした変化は、「あんど」の活動など、様々な市民のみなさんの運動が政治を動かしたと感じています。

連絡会が結成されたことで、運動がさらに広がっています。「あんど」のお母さん達だけでは手が届かなかつた方々に訴えることが出来るようになりまし。現在は、2月28日を目前に署名集めに取り組んでいます。是非、皆さんのご協力をお願いします。

◆「子どもの医療費は無料に!」シンポジウムを開催します。

日時: 3月7日 15:00~  
場所: 中央コミュニティセンター  
※保育所あります  
特に若い世代が大きな声をあげるきっかけにしたいと思っています。是非ご参加下さい。

党市議会議員  
中村あさと

